

山口赤十字病院

所在 〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53-1

山口県中部の基幹病院として地域医療に従事し、急性期を主体とした総合病院としての機能に加え、地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院として産科、小児科医療を実施しています。また、赤十字としての救護活動にも注力。多数の認定施設で専門的な知識、技術が習得可能です。

募集人数 **6名** 病床数 **377床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：430,000円/月（日当直手当含む）
給与2年目：460,000円/月（日当直手当含む）
賞与2回（夏季・冬季）

研修プログラムの特徴

当院は山口県・県北の基幹病院として2次医療圏に属しています。柔軟にプログラムが作成でき、各診療科ローテーションが可能。Common disease等、多数の症例を経験できます。糖尿病サポートチーム、栄養サポートチーム（NST）、院内感染防止（ICT）チームなどのチーム医療にも力を入れています。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 12週※	外 8週	小 8週
	内…内科、救…救急部門、外…外科、小…小児科			
2年目	産 8週	精 4週	地 4週	選 36週
	産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科目研修			

※救急部門は救急外来所属で、内科系・外科系・小児科のそれぞれの医師の指導のもと行う。

また、救急部門の12週のうち、4週は麻酔科研修とする。

※外科、小児科、産婦人科、精神科は4週～8週 ※地域医療研修は、2年目に4週～8週

関連病院等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 宇部協立病院
- ・ 日本赤十字社和歌山医療センター
- ・ 山口県立総合医療センター
- ・ 関門医療センター
- ・ 下関市立市民病院 ほか

主な勉強会

ICLS講習会、BLS講習会、CPC（臨床病理検討会）〈年1回〉、金曜早朝講義、呼吸器セミナー、内科セミナー、消化器合同カンファレンス、抄読会〈定期的〉、その他各科症例検討会あり

指導医
(プログラム責任者)[内視鏡外科部長]
山中 直樹 医師

研修医

研修2年目 [九州大学出身]
川井田 悠史 医師

Q 当院の自慢は？

総合病院として内科や外科をはじめ多岐にわたる分野での専門的な指導医が在籍しています。産科小児科領域では地域周産期センター・小児夜間急病センターを有しており、山口圏域での周産期医療で重要な役割を担っています。また、赤十字病院としての特性である災害医療も積極的に活動しています。

Q 研修内容のセールスポイントは？

各診療科の垣根が低く、他科へ気軽にコンサルトや相談ができ、各診療科にまたがって診療ができます。市中病院のためCommon diseaseから希少な難病・特定疾患までバランスよく豊富な症例を経験可能です。研修途中でも希望があれば、柔軟に研修プログラムが変更可能です。

Q どんな指導を心掛けていますか？

基本的に診療科に1人が配属される体制にしており、研修医各々の習熟度に応じてマンツーマンに指導しています。救急の場では主体的に診療に当たってもらい、上級医から必ずフィードバックを受けていただきます。

Q 医学生へのメッセージ

当院は医療スタッフに恵まれており、自分のペースで研修ができます。病院周辺も風情ある街並みで、きっと楽しい研修生活が送れますよ。

Q 研修先病院として選んだ理由は？

初期臨床研修において必修としてローテーションするほとんどの科を院内で終えられるという点です。精神科と地域医療以外は、当院で完結することができます。その分、2年目に自分が希望する科を大学病院などの外病院で研修可能です。自由にローテーションを選択できる期間が長いことは、3年目以降の進路を考える点においても大きなアドバンテージです。

Q この病院を選んだよかったことは？

研修のしやすさです。当院の研修では、外来や病棟、救急の場面において、自分がしてみたいと思ったことは大概何でもさせてもらえます。また、上級医の先生方に限らず、経験ある病棟スタッフも研修医に対して親身になって教えてくださいます。

Q 研修で最も身についたことは？

救急での初期対応について学ぶことができます。特に当直は上級医の先生と一緒に行動するため、不安になることなく初期対応を実践できます。

Q 医学生へのメッセージ

これら以外にも、当院の魅力はまだあります。もし、お時間あればぜひ一度見学に来てください。研修医一同お待ちしております。



お問い合わせ先

担当部署：人事課 | 担当者：塩塚 優大 | 電話：083-923-0111
Eメール：jinnji@yamaguchi-med.jrc.or.jp